

## Ⅱ. 第9期中期計画

1. 第9期中期計画策定にあたっての意見・要望（会員団体へのアンケートより）		
事業	No.	第9期中期計画策定にあたっての会員アンケートより抜粋
全般	1	・負担金に見合う事業が実施できていない
	2	・日本遺産関連の事業が必要
	3	・歴史街道と関連がある場合は、 <b>歴史街道のロゴ</b> を入れ解説する
	4	・「食文化」をもっと活用した事業を手掛けては
	5	・特定テーマを選定した事業の検討
	6	・ <b>デジタル情報の発信や訪日外国人への対応、専門知識を持った団体等との連携</b>
	7	・ <b>一般の方が肩肘を張らずにもっと気軽に楽しめるような事業を行う</b>
	8	・関西観光本部との発展的合流
地域事業	9	・ <b>官主導は否めず（⇒ 民間の力をより活用）</b>
	10	・「歴史街道」のブランドをうまく活かせていない
	11	・ <b>市町村単体では難しい広域的なプロモーション活動が必要</b>
	12	・地域経済効果の高い事業が必要
	13	・さらに <b>効果的なPRが必要</b>
	14	・ <b>外国人観光客に認識してもらえるエリアとしてのブランディングの旗振り</b>
	15	・事業数少ない。オリパラに向けて、より充実が必要
理念普及	16	・より見やすくわかりやすいコンテンツにする
	17	・ <b>情報をこまめにアップデートする</b>
広報	18	・ <b>HPをより分かりやすく修正する必要有り</b>
	19	・ <b>「歴史の旅人」を駅や案内所などに設置して会員の募集につなげる</b>
	20	・女性や若年層向けの仕掛けが必要

2. 考慮すべき環境与件の変化	
内 部	外 部
<p>① 参画団体減等による財政基盤の不安定化</p> <p>② 参画団体の関心・協力度合いの低下</p> <p>③ 事務局職員のマンパワーの低下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の高齢化</li> <li>・プロパー職員の定年による退職（2020年2月までに全員）</li> </ul>	<p>① インバウンドの急激な増加 （1991年：2017年＝350万人：2,900万人）</p> <p>② 国際イベントの連続開催 （ラグビー、東京村・パワ、マスターズ）</p> <p>③ IT化による情報受発信方法の激変 （ネット、スマホ、SNS）</p> <p>④ 世界遺産・日本遺産制度</p> <p>⑤ 歴史街道倶楽部類似活動団体の増加</p> <p>⑥ 文化庁の京都移転</p> <p>⑥ 人口構造の少子高齢化</p>

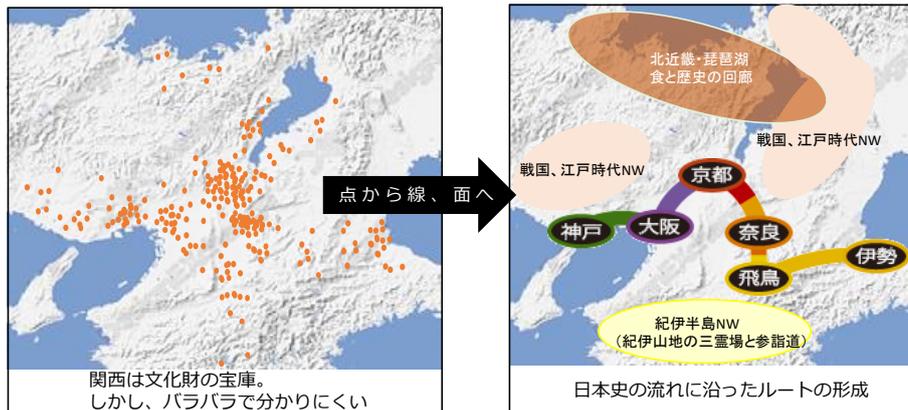


### 3. 第9期中期計画策定にあたっての考え方

#### (1) 歴史街道計画の原点（マスタープランで掲げた目的：平成4年2月）に立ち返る

歴史街道をつくることにより、

- 1) 日本の良さ・特徴や、日本の歴史文化、日本人のこころ、知恵などをアピールし、多くの人に訪れてもらうことにより理解してもらう
- 2) より多くの人に、より楽しく、歴史文化に接し再認識してもらう
- 3) 歴史文化資源を最大限に活用し、それにふさわしい地域づくりを官民協働で複合的に推進する



#### (2) 当協議会の存在意義と時代ニーズから総括目標として次の2点を目指す。

- 1) 歴史街道の存在価値を示す
- 2) インバウンド対応力を強化する



### 4. 第9期中期計画骨子

#### (1) 位置づけ

各会員団体にこれまで以上に参画意識を高めていただき、当協議会の将来の在り方についての方向性を決定づけるための3カ年とする。

#### (2) 基本方針

当協議会の存在理由を明確にすべく歴史街道計画の原点に立ち返り、基軸となるべき“メインルート”（以下MR）の考え方を体感し得る企画・活動の構築を目指す。



## 4. 第9期中期計画骨子

### (3) 今後3年間の取組み方針

年度	H30(2018)年度	2019年度	2020年度
重要イベント	-	ラグビーW杯	東京オリンピック・パラリンピック
テーマ	<b>当協議会存在理由の明確化</b> → <b>メインルートを基軸とする広域官民連携による当協議会の柱となる事業の構築</b>		
	原点 回 帰	チェンジ&チャレンジ	柱となる事業構築
取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業の整理、見直し → 改廃、強化等の区分</li> <li>・新規事業の模索 → ニーズの優先順位付けと実現性考慮 → 日本文化体感プログラムの一般・観光客向け企画</li> <li>・WEB戦略見直し (HP全面改訂)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業再スタート</li> <li>・新規事業へのチャレンジ → MR6拠点参画広域官民連携事業 → 他団体等との広域連携事業 → 日本文化体感プログラムの一般・観光客向け事業</li> <li>・新WEB戦略展開</li> </ul>	各種展開事業の中から、国内向けとインバウンド向けに主力事業となりうるものをそれぞれ絞り込み、拡大・強化する。
	他団体との連携（共催、協力、後援等）を最大限強化		
	事務局のマンパワー及び健全財政の維持		

付帯重要案件	歴史街道シンボルステッカー（1,500箇所）ならびにWelcomeボード（77駅125箇所）のメンテナンス 会員団体HPでの「歴史街道計画を応援しています」バナーの掲出（特に自治体関連の観光協会やそれら類似団体のHP）
--------	--



## 5. 第9期中期計画主要事業施策

### (1) 主要事業施策（国内既存）

	国内		取 組 概 要			
	事業項目	主要ターゲット	H30(2018)年度	2019年度	2020年度	
既存事業	MR	・関西5私鉄連携事業推進	・歴史ファンの中高年男女	従来路線継続しつつ次年度以降の在り方（そのまま継続するものとMR全域企画としての実施可否等）を専門部会的な場を設けて検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままとしたものはルーティン事業として継続</li> <li>・MR全域企画の一環として実施するものは新たな事業としてスタート</li> </ul>	
		・飛鳥奈良京都連携事業				
		・京都大阪神戸連携事業				
		・京街道淀川左岸連携事業				
	NW	・世界遺産連携会議への支援	・欧米豪インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>①百舌鳥古市古墳群（世界遺産登録の実現＝有識者委員会・民間委員会）</li> <li>②各遺産毎の事業推進（京都二条城アリアムの継続等）</li> <li>③国への要望活動継続（世界遺産特別法の制定等）</li> </ul>		
		・紀伊山地の霊場と参詣道（歴史街道2号）	・国内外の歴史ファン	<ul style="list-style-type: none"> <li>①熊野古道の外国語表示の整備（最終約100箇所）</li> <li>②三霊場東京フォーラム内容を10言語HP化</li> </ul>		
		・北近畿、琵琶湖「食と歴史の回廊」（歴史街道3号）	・ファミリー層	<ul style="list-style-type: none"> <li>①名古屋・大阪での情報発信に力点</li> <li>②風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」</li> <li>③伝建地区など同種テーマによる連携を模索</li> </ul>		
	共通	・日本文化体感プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、大学生</li> <li>・高校生</li> <li>・小中学生とその保護者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業・大学とも毎年各1件の新規開拓を目指す</li> <li>旅行会社との連携による講座開講を目指す</li> <li>奈良教育大学、大阪市（文楽、大阪城）+夢基金採用企画の実施</li> </ul>		
		・共同事業（スタンプラリー）	・歴史ファンの老若男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開期間・内容見直し</li> <li>2019年度よりリニューアル版をスタート</li> </ul>		
		・歴史街道倶楽部	・歴史ファンの中高年男女	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員数減対策の一環として、公共図書館、主要駅、銀行店舗等へ会報の配架を検討。順次調整後配架実施。</li> </ul>		
・会員団体実施事業への後援		・会員団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標 → 120件</li> <li>150件</li> <li>200件</li> </ul>			
	・フォーラム、展示会等	・歴史ファンの中高年男女	関西広域連合等との大規模連携企画を中心に継続			



## 5. 第9期中期計画主要事業施策

### (2) 主要事業施策（国内新規）

	国内		取組概要			
	事業項目	主要ターゲット	H30(2018)年度	2019年度	2020年度	
新規事業	MR	・ 6拠点を含む地域連携事業 連携先→ ex.地域案内ガイド、資料館・博物館、大学等 内容→ ex.リレーウォーク・セミナーetc.	・ 歴史ファンの中高年男女	2019年度の立ち上げを 目途に企画・調整（専門 部会的な場を設けて検 討）	MR全域企画として 試行、アラップアップ を図る	MR全域企画として 正式スタート
		・ 関西5私鉄+市町村連携事業		2019年度の立ち上げを 目途に企画・調整	MR全域企画として 試行、アラップアップ を図る	MR全域企画として 正式スタート
	・ 旅行会社との連携事業 → 教育旅行コンテンツ商品化	・ 中学、高校生	日本文化体感プログラム（こども向け）を修学旅行用コンテンツ としてカスタマイズ、商品化して提案。早ければ2018年度、遅 くとも2019年度での実現を目指す。			
	NW	・ 世界遺産連携会議への支援	・ 欧米豪 インバウンド	各遺産毎の事業推進 ①法隆寺（斑鳩活性化計画：東京セミナー・シブ等） ②姫路（世界遺産サイト誘致＝2018、西日本の世界遺産による デジタルサイネージ広告等）		
		・ 紀伊山地の霊場と参詣道 （歴史街道2号）	・ 国内外の 歴史ファン	①古道別多言語MAP・パンフ・ガイドブックを順次整備 ②公共交通機関利用による「7泊8日温泉と蘇り」のコースづくり		
	共通	・ 新WEB戦略の展開	・ 歴史ファン	2018年度内でのHP全面リニューアル（情報を整理、見やすく、 わかりやすい）を目指す。2019年度には英語でのSNSへの 情報発信が適宜できるようにする。		
・ 歴史街道計画貢献者の顕彰		・ 地域の 歴史街道関連活動者	早ければ2019年度、遅くとも2020年度の実現をめざし、 企画検討・調整			



## メインルートを中心とした広域官民連携新規事業例

目指すところ → MR上の6拠点が揃って参画し、当協議会の柱となりうる広域官民連携  
による看板事業の構築

### 例1. 歴史街道メインルート リレーウォーク

メインルート6拠点を中心とし、ネットワークエリアを含む各地域の観光ボランティアガイドによる  
リレーウォーク。

現在、定点案内にご協力をいただいている15地域の観光ボランティアガイド等を含めて連携する。

ex. 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

「平城遷都1300年祭」を記念して、奈良・大阪間レベルで広域的なネットワーク化を目指し、これに  
関連する地域の観光ボランティアガイド団体が連携して大阪・奈良歴史街道リレーウォークが始まる。  
2007年9月24日の第1幕開催から、2016年5月に第3幕を終えるロングランイベントとなっている。  
現在第4幕（2017年3月～2018年12月）を実施中





## メインルートを中心とした広域官民連携新規事業例

### 例 2. 歴史街道スタンプラリー、関西5私鉄スタンプラリー、地域連携事業の統合



## メインルートを中心とした広域官民連携新規事業例

### 例 3. 歴史街道メインルート フォトリゲイニング (歴史・文化の新しい楽しみ方)

- ・ フォトリゲイニングとは、地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
- ・ チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは見本と同じ写真を撮影
- ・ チェックポイントに設定された数字がそのまま得点となり、より合計点の高いチームが上位
- ・ **観光名所や寺社仏閣、店舗などがチェックポイントに設定されることが多く**、本来のロゲイニングの戦略的な面白さはそのままに、**ファミリーや初心者でも手軽に楽しむことができる**。
- ・ 性別により「男子」「女子」「混合」、年齢により、子供を含む「家族」、一定年齢以上のみで構成された「ベテラン」など、多くのクラスが設定されることで、参加者の意欲を高めることができる。

<歴史・文化の再発見に力点を置いたものとする>





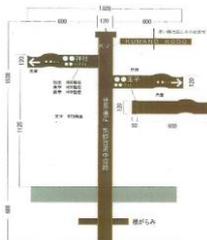
## ネットワーク（NW）における事業イメージ

### 紀伊山地の霊場と参詣道（歴史街道2号）

世界遺産登録コンセプトの普及  
（主要社寺重鎮による「三霊場フォーラム」）



外国語道標の整備



公共交通による7泊8日コースづくり



### 北近畿・琵琶湖 食と歴史の回廊（歴史街道3号）

メディア訪問の成果例  
（TV番組による「越前ガニ解禁」紹介）



風景街道事業例  
（自転車による琵琶湖一周の推進）



インバウンド推進に向けての基礎整備  
（QRコード→10言語にアクセスできるMAP）



## 世界遺産・日本遺産関係の事業イメージ

### 世界遺産・日本遺産関係地域の振興

< 事業例 >

世界遺産サミット  
（京都・和歌山・姫路）



アクアリウム城in二条城  
（3年間入場者数約50万人。入場料の10%、約5千万円を二条城保全に寄付）



要望活動



2020世界遺産一斉行動の検討  
（カウントダウン・イベントのイメージ）



百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録推進  
（関西国際空港でのアピール）



日本遺産のPR  
（シンポジウム、月刊「歴史街道」等）



（例）月刊歴史街道2016年5月号



## 5. 第9期中期計画主要事業施策

### (3) 主要事業施策（インバウンド）

	事業項目	主要ターゲット	取組概要		
			H30(2018)年度	2019年度	2020年度
既存事業	MR ・日本文化体感プログラム → 訪日外国人研修生向け → 日本で学ぶ留学生向け	・経済的発展途上国研修生 ・留学生	外部スタッフ（講師及び通訳案内士）の充実を常に意識し、現状（年間50本～60本）の維持を目指す		
	NW ・南北近畿振興	・欧米家を含むインバウンドへの基礎対応	①東京五輪までに紀伊半島三霊場東京フォーラム（2018）の内容を10言語HP化 ②熊野古道等における外国語表示整備（～2021） ③多言語による紀伊山地の霊場と参詣道ガイドブック・パンフレットを古道別に整備（～2021） ④10言語「北近畿・琵琶湖 食と歴史の回廊」HPの充実 ⑤QRコードから10言語に対応可能な「北近畿・琵琶湖 食と歴史の回廊」MAPの普及		
新規事業	MR ・関西観光本部との連携 → MRに関係するツアーの商品化（期間1週間～10日） → 日本体感PRG版ツアーの商品化	・日本に関心を持つ外国人	これまで協議会で実施してきた「一筆書きの旅」や「日本文化体感PRG」を商品としてカスタマイズ、提案。	関西観光本部の協力を仰ぎ、ファームリップや発信力あるブロガーへの利用を現実させ、商品としてのブラッシュアップを図る。	一般商品として流通
	NW ・世界遺産連携会議への支援	・欧米家からのインバウンド	①全国世界遺産共同行動の検討（2020：姫路城でのカウントダウン・イベント等） ②斑鳩活性化計画（法隆寺セミナー内容の10言語HP化、欧米観光見本市でのアピール等：2018-） ③スペインにおける紀伊山地の霊場と参詣道セミナー（2018）		
	共通 ・新WEB戦略の展開	・日本に関心を持つ外国人	2018年度内でのHP全面リニューアル（情報を整理、見やすく、わかりやすい）を目指す。2019年度には英語でのSNSへの情報発信が適宜できるようにする。		



## 歴史街道シンボルステッカー等のメンテナンス

### 現在の掲出貼付状況

☆歴史街道シンボルステッカー（1,500箇所）



★Welcomeボード（77駅125箇所）



2018年度：現状調査・予算化 ➡ 2019年度：メンテナンス開始 ➡ 2020年度中に完了



## HPでの「歴史街道計画を応援しています」バナー掲出のお願い

掲出箇所を増やすことで相乗効果による露出効果の最大化を追求！

 **歴史街道**  
REKISHI KADO

〇〇は歴史街道計画を応援しています



## 販促物への「歴史街道計画を応援しています」ロゴ掲出協力のお願い

掲出箇所を増やすことで相乗効果による露出効果の最大化を追求！

 **歴史街道**  
REKISHI KADO

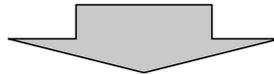
〇〇は歴史街道計画を応援しています





## 6. 第9期中期要員計画

プロパー社員の退職に伴うマンパワー減等を再雇用並びに**専門職の契約社員**の採用等により補い、事務局機能の現状維持を図る。



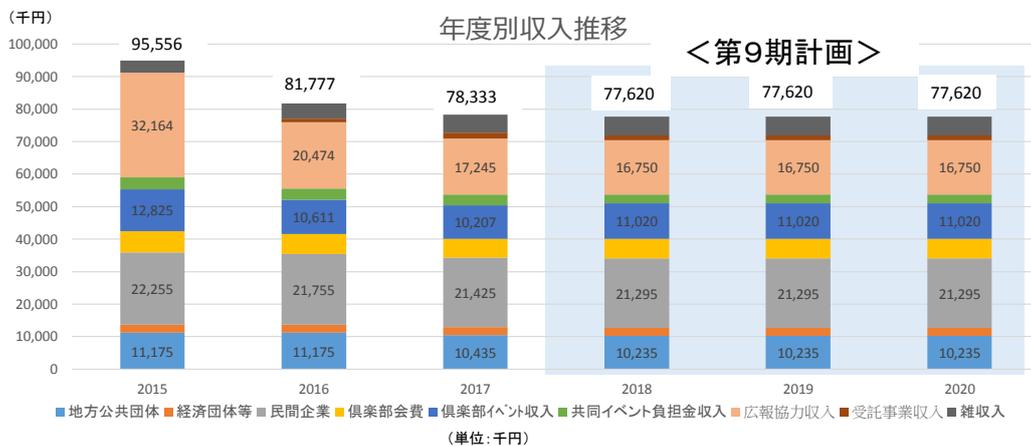
単位:(人)

	H29 (2017)	H30 (2018)				2019		2020
		～5月	6月～9月	10月～ 2月	3月	4月～2月	3月	
プロパー	3	3	2	2	1	1	0	0
出向者	10	10	10	10	10	10	10	10
契約社員	1	1	2	※ 3	3	3	4	4
計	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	※ <b>15</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>

※3月からのプロパー1人減に備えて



## 7. 第9期中期収支計画



収入	2017	2018	2019	2020
地方公共団体	10,435	10,235	10,235	10,235
経済団体等	2,500	2,500	2,500	2,500
民間企業	21,425	21,295	21,295	21,295
倶楽部会費	5,782	6,000	6,000	6,000
倶楽部イベント	10,207	11,020	11,020	11,020
共同事業収入	3,350	2,650	2,650	2,650
広報協力収入	17,245	16,750	16,750	16,750
受託事業収入	1,820	1,500	1,500	1,500
雑収入	5,566	5,668	5,668	5,668
計	78,333	77,620	77,620	77,620

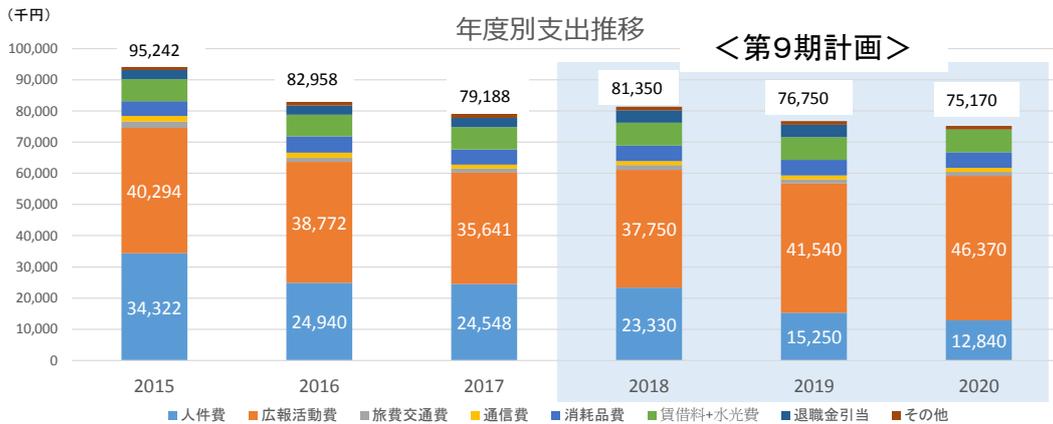
活動収入の維持が必須



会員団体等の  
強力な支援が必要



## 7. 第9期中期収支計画



(単位:千円)

支 出	2017	2018	2019	2020
人件費	24,548	23,330	15,250	12,840
<b>広報活動費</b>	<b>35,641</b>	<b>37,750</b>	<b>41,540</b>	<b>46,370</b>
旅費交通費	1,334	1,610	1,310	1,310
通信費	1,336	1,300	1,300	1,300
消耗品費	4,815	5,010	5,000	5,000
賃借料+水光費	7,132	7,200	7,200	7,200
退職金引当	3,000	4,000	4,000	0
その他	1,381	1,150	1,150	1,150
	79,188	81,350	76,750	75,170

### 広報活動費

- ・ 第8期計 (約115百万円)
- ・ 第9期計 (約126百万円)



首都圏での活動拡大等に充当



## H30年度の事業推進区分

### 第8期計画からの変更点

3つの目標	第8期計画	第9期計画	
日本文化の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報事業 (一般広報活動、歴史街道倶楽部事業)</li> <li>・ 理念普及事業 (日本文化体感プログラム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メインルート事業</li> <li>・ ネットワーク事業</li> </ul>	広 報
歴史文化を活かした余暇づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域事業 (メインルート事業、ネットワークエリア事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本文化体感プログラム事業</li> </ul>	
歴史文化を活かした地域づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォーラム、展示事業</li> <li>・ 歴史街道倶楽部事業</li> </ul>	



- ・本資料に記載されている施策や数値計画は、当協議会が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により、異なる可能性があります。